

国立国会図書館関西館 第18回小展示

古今東西いきもの絵巻

—いる、いない、もういない—

展示資料解説



開催期間 8月20日(木)～9月15日(火)



命の星、地球。生命が誕生してから40億年の時を経た今、多様な生き物が栄えるさまは、まさに百花繚乱といえます。身近にいる動物、絶滅してしまった動物、そして人の想像力が創り出した動物。我々人類は時代を越えて、常に彼らと共にありました。

第18回の関西館小展示では「古今東西いきもの絵巻ーいる、いない、もういないー」と題し、実在の動物から想像上の動物まで、多種多様な動物の姿をご紹介します。

資料リストについて

- 資料番号 タイトル 卷号 / 編著者名等(出版社, 出版年)の順に掲載しています。【】内は当館請求記号を表します。
- 展示している資料はすべて関西館所蔵です。ガラスケースにて展示している資料は、当館でデジタル化を済ませた資料の原本です。
- デジタル化した資料はすべて館内の端末で、国立国会図書館デジタルコレクション (<http://dl.ndl.go.jp/>) からご覧いただけます。
- 請求記号の後にアイコンがついているものは、デジタル化されているものです。



資料の電子画像をインターネット上で見ることが可能な資料です。



国立国会図書館の館内および、「デジタル化資料送信サービス」の「送信先機関」内でのみご覧いただける資料です。

「デジタル化資料送信サービス」については、http://dl.ndl.go.jp/ja/about_soshin.htmlをご参照ください。



国立国会図書館の館内でのみ閲覧可能な資料です。

目次

第 1 章	- いる -	- 4 -
トピック①	生き物の世界へようこそ！	- 4 -
コラム①	昆虫	- 7 -
コラム②	進化	- 8 -
トピック②	人のとなりに：飼育される生き物たち	- 10 -
第 2 章	- いない -	- 13 -
トピック③	頭はライオン、胴はヤギ、尾っぽはヘビで、口から火!?	- 13 -
トピック④	お話の中にいきいきと	- 16 -
第 3 章	- もういない -	- 19 -
トピック⑤	恐竜の残した口マン	- 19 -
トピック⑥	彼らはそこにいた：絶滅種・絶滅危惧種	- 22 -

第1章　ーいるー

地球には実際に様々な動物が暮らしています。身边には見ることのできない野生動物の姿や、ペットなどの動物と人の関係を、色鮮やかな図鑑を中心に紹介します。

トピック① 生き物の世界へようこそ！

この地球には、溢れ返るほどたくさん、あなたが知らない動物たちがいます。新種や珍種も含め、図鑑でその姿に出会い、読み物でその生態を知ってください。

1. 普通動物の観察 / 博物研究所 編 (松村三松堂, 明41.10)

【17-349】

インターネット公開 

博物学の視野からあらゆる動物の特徴を記述したものです。特に、動物の分類・分布に強みをもっており、種の派生についても詳しく書かれています。巻頭に出てくる動物の群像を描いた一枚絵は鮮明で、美術的なおもしろみももった資料です。

2. 日本動物図鑑 [分冊1] / 内田清之助 等著 (北隆館, 昭和2)

【571-70】

館内限定公開 

大正から昭和初期にかけて編纂された、日本初の総合的な動物図鑑であるとされます。今回展示している資料は2分冊のうちの一つで、脊椎動物や節足動物（昆虫、甲殻類など）を取り上げています。

3. 動物のことば / テインベルヘン 著；渡辺宗孝, 日高敏隆, 宇野弘之訳 (みすず書房, 1957) 【481.78-cT58d-W】

館内公開／
図書館送信資料 

オランダの動物行動学者ニコラス・ティンベルヘンの著作です。イトヨの攻撃行動をはじめ、教科書にも載っているような事象を挙げながら、

どのような仕組みとはたらきによってある個体が別の個体と互いに連鎖した行動をとるのかを解説しています。

4. 動物記 1 / E.T.シートン 著；内山賢次 訳 (白揚社, 昭 12-13)
【720-182】

館内公開/
図書館送信資料



イギリスの博物学者アーネスト・シートンがフィールドで行った、緻密な個体観察によって成る作品群です。展示資料は昭和 12 (1937) 年から昭和 13 (1938) 年に刊行された初邦訳書です。ファーブルの『昆虫記』と並び、著者の観察の鋭さに定評があります。

5. 世界動物大図鑑 / ディヴィッド・バニー 総編集；日高敏隆 日本語版総監修 (ネコ・パブリッシング, 2004.3) 【RA6-H10】

無脊椎動物から哺乳類まで、2000 種以上の動物種をフルカラーで取り上げた大型の図鑑です。単に種の特徴を書き並べるにとどまらず、コラム的な紹介がしばしば差し挟まれ、より深く動物を知ることができます。

6. 動物の不思議：生物の世界はなぞに満ちている (ニュートンプレス, 2002.11) 【Y94-H1137】

進化、古生物、生息域、コミュニケーション、行動、ボディプラン。動物にまつわるあらゆるトピックを基点に、「なぜこの動物はこのような生態をなしているのか」を解き明かしてくれる、ニュートンムックらしい一冊です。

7. 世界の奇妙な生き物図鑑 / サー・ピルキントン=スマイズ 著；岩井木綿子 訳 (エクスナレッジ, 2014.2) 【RA411-L23】

著者が自身で選んだ珍しい動物について、その魅力をまとめた作品です。それゆえ、動物の写真や絵以上に、余談をまじえた動物紹介が面白く、読み物の性格が強い図鑑です。

8. 新種の冒険：びっくり生きもの 100 種の図鑑 / クエンティン・ウィーラー, サラ・ペナク 著；西尾香苗 訳 (朝日新聞出版, 2015.1) 【RA411-L41】

年間 1 万種以上が新たに発見されているという動物界の中で、色、形、大きさという見た目に目立つ新種だけでなく、その生物がもつ毒性や生存力、はたまた名前の奇妙さなどで特筆すべきものを含め、全 100 種が厳選されています。

9. ヒトと動物 / ローレンツ [等]著；奥井一満, 柴崎篤洋 訳 (思索社, 1975) 【RA441-67】

20世紀前半における動物行動学の隆盛をもたらした学者たちの論考を集めた書物で、ノーベル医学・生理学賞を受賞したローレンツ、フォン・フリッシュ、ティンベルヘンも執筆者として名を連ねています。ヒトも動物行動学の対象として一考されています。

10. 野生動物学概論 / 田名部雄一 [ほか]著 (朝倉書店, 1995.4) 【RA441-E112】

実験データが適宜参照されるなど、他の展示資料に比べて学術的な色合いが濃い書物です。動物の系統分類、生息域、生殖のような生物学一般に限らず、獣医学等の要素も含めたものとなっています。

11. 日本列島の野生生物と人 / 池谷和信 編 (世界思想社, 2010.3) 【RA145-J130】

主に日本の歴史や文化、自然環境といった基盤の上で、人間と野生動物がどのように互いの生活に影響し合ってきたかを問うた論集で、野生動物にまつわる民俗誌ともいえる資料です。野生動物保護など、現代的なトピックにも踏み込んでいます。



コラム① 昆虫

ファーブル没後 100 年。昆虫は、彼一人を惹きつけただけでなく、その後の多くの人々の好奇心をかきたててきました。ファーブル関連図書に加え、昆虫研究や「昆虫美術」に関する著作をご覧に入れます。

12. 世界一うつくしい昆虫図鑑 / クリストファー・マーレー 著；熊谷玲美 訳 (宝島社, 2014.4) 【RA531-L93】

自然に親しむ写真家とデザイナーのコラボレーションによって制作された昆虫図鑑です。色彩に富んだ昆虫標本を集め、芸術的に配しているため、写真帳として見るという楽しみ方ができます。

13. ミツバチの不思議 / カール・フォン・フリッシュ 著；伊藤智夫 訳 (法政大学出版局, 2005.7) 【RA531-H176】

オーストリアの動物行動学者カール・フォン・フリッシュの著作で、ミツバチを題材に、視覚、嗅覚、個体間の情報伝達を究めています。特に、ミツバチが仲間に餌場の情報を知らせる行動として有名な 8 の字ダンスなどが、模式図とともに解説されています。

14. フンコロガシ先生の京都昆虫記 / 塚本珪一 著 (青土社, 2014.8) 【RA531-L113】

京都に生まれ、京都で教鞭をとった昆虫学者塚本珪一による隨筆的な著作です。日常的に昆虫を採集、観察するさまを、周囲の情景や人々の様子も交えつつ語っています。昆虫学者の細やかな眼と好奇心が感じ取れます。

15. 博物学の巨人アンリ・ファーブル / 奥本大三郎 著 (集英社, 1999.12) 【GK433-G8】

フランス文学者であり、日本アンリ・ファーブル会理事長を務める奥本大三郎による著作です。『昆虫記』の記述を隨時差し込みながら、ファ

ーブルの生涯と『昆虫記』の刊行までをテンポよく物語っています。本書全編において、著者のファーブル愛が伝わる新書です。

16. ファーブル昆虫記 / ジャン=アンリ・ファーブル 著；大杉栄 訳 (明石書店, 2005.12) 【RA531-H184】

『昆虫記』第1巻（資料番号17）の復刻版です。原版当時の仮名遣いで記される本編に、生物学者小原秀雄による若干の解説が付け加えられています。大正期の代表的なアナリストとして有名な大杉栄が、フランス文学に通じていたという別の顔を見せる著作でもあります。

17. 昆虫記 1 / フアブル 著；大杉栄, 椎名其二 訳 (叢文閣, 大正 11-15) 【385-207】 インターネット公開

フランスの昆虫学者アンリ・ファーブルの代表的著作で、昆虫の生態の記録として名高いです。展示資料は大正11（1922）年から大正15（1926）年に刊行された邦訳書です。第1巻については、大杉栄が翻訳を担当している点も興味深いです。観察の緻密さと、昆虫を擬人的に描く文学性を併せ持っています。



海の魚、空の鳥、野の獣、そして人類。我々とその周りの動物達は、突然出現したわけではなく、驚くほど長い時間をかけて今ある形に進化しました。現在に至るまでの進化の過程と、そのメカニズムをご紹介します。

18. Evolution : 生命の進化史 / ダグラス・パーマー 著；ピーター・バレット イラスト；椿正晴 訳；北村雄一 監修 (ソフトバンククリエイティブ, 2010.1) 【RA121-J32】

生命の発生から人類の誕生に至るまで、様々な段階の復元イラストとともに生物の進化の過程を追っています。現存する生物に繋がる古代からの流れを概観することができます。

19. 進化地図 / ロジャー・オズボーン,マイケル・ベントン著 ; スティーヴン・ジェイ・グールド監修 ; 池田比佐子訳 ; 小畠郁生日本語版監修 (河出書房新社, 2011.6) 【RA121-J65】

本書は、生物の進化について、地理的特性に着目して整理し、解説しています。生物の周囲の環境や個体群の移動、そして地理的隔離が、進化にどのような影響を与えてきたのかがわかります。

20. 生物進化を考える / 木村資生著 (岩波書店, 1988.4) 【RA121-E7】

分子レベルでの進化のメカニズムを説明する「分子進化の中立説」を提唱し、世界的な注目を集めた著者が、ダーウィンの「種の起源」から中立説に至るまでの進化の考え方を説明しています。

21. あなたはボノボ、それともチンパンジー？：類人猿に学ぶ融和の処方箋 / 古市剛史著 (朝日新聞出版, 2013.12) 【RA571-L28】

霊長類の中でも、最もヒトに近い存在であるボノボとチンパンジーは、共通点を多く持つ一方、攻撃性の違いなど、その生態には異なる点が多くあります。本書では両者の違いを分析すると共に、ヒトの進化についても考察しています。

22. 新版・図説種の起源 / チャールズ・ダーウィン著；リチャード・リーキー編；吉岡晶子訳 (東京書籍, 1997.11) 【RA121-G33】

現代の一般的な読者には読み辛いと言われることもあるダーウィンの「種の起源」を、人類学者のリチャード・リーキーが編集し、解説を加えて読みやすいようにまとめた一冊です。簡約版ではありますが、「種の起源」の概要がわかります。

23. 生物始源：一名種源論 / チャーレス・ダーエン著；立花銑三郎訳 (経済雑誌社, 1896) 【467.5-cD22s3-T】

インターネット公開 

イギリスの自然学者チャールズ・ダーウィンによる「種の起源」の初邦訳書です。本書では、進化は、突然変異と自然淘汰によって起こるとする「自然選択説」が主張されています。原著発表時、科学的議論のみならず、宗教的議論をも巻き起こし、多大な注目を集めました。

トピック② 人のとなりに：飼育される生き物たち

人類は太古より、一部の動物をペットや家畜として飼いならしてきました。また、動物園も動物の飼育・展示を担う機関として長い歴史を持っています。飼育される動物と人類との様々な関係をご覧ください。

24. **新犬種大図鑑 / ブルース・フォーグル 著；福山英也 日本語版監修 (ペットライフ社；緑書房 (発売), 2002.4) 【RB651-G932】**

長い歴史を人類とともに歩んできた犬の図鑑です。たくさんの犬種を紹介するだけでなく、彼らと人類との関係の歴史も写真等を豊富に用いて解説しています。

25. **新猫種大図鑑 / ブルース・フォーグル 原著；小暮規夫 日本語版監修 (ペットライフ社；緑書房 (発売), 2004.2) 【RB651-H116】**

ペットとして犬と並ぶ人気を誇る猫の図鑑です。世界で飼育されている様々な種類の紹介に加えて、猫が人間社会でどのように受け入れられてきたか、文化史的な解説も掲載されています。

26. **ヒトと動物の関係学. 第3巻 / 林良博, 森裕司, 秋篠宮文仁, 池谷和信, 奥野卓司 編 (岩波書店, 2008.12) 【RA411-J13】**

ペットをめぐる問題を、人類とペットとの歴史、現状と課題、今後のペットの可能性の3つのテーマから論じています。動物医療から人文科学まで多様な切り口で、ペット問題についての理解を深めることのできる一冊です。

27. **人を助ける犬たち犬とともに歩む人たち / 江澤恭子 著 (ミネルヴァ書房, 2002.6) 【EG61-G624】**

ペットとして代表的な犬は、ただ可愛がられるだけではなく、盲導犬、介助犬、警察犬などとして人を助ける存在でもあります。人の親しい友

として活躍する犬たちとその飼い主の姿を、実際のエピソードを通して紹介します。

28. 図説・動物文化史事典：人間と家畜の歴史 / J.クラットン=ブロック 著；増井久代 訳 (原書房, 1989.8) 【RB511-E8】

人類はどのように動物の暮らしを操作し、人間社会に組み込んでいったのでしょうか。本書では氷河時代末期（約1万年前）以降の動物の家畜化の初期段階について考古学的、歴史的に考察しています。

29. 人と動物の日本史. 1 (吉川弘文館, 2008.12) 【GB97-J15】

日本でも多くの動物が様々な形で人とともに暮らしてきました。本書では縄文時代以降の日本人の動物観の変遷や、犬猫から豚や鳥との関係、肉食、漁労など幅広く日本人と動物の関係について考古学的視点で論じています。

30. 世界の動物園 / 奥宮誠次 文・写真 (ランダムハウス講談社, 2008.8) 【RA12-J17】

世界の37の動物園を撮影した写真集です。カメラは飼育されている動物や施設だけでなく、動物園を楽しむ人々の姿もとらえています。日本の動物園と比較してみるのも面白いかもしれません。外国の動物園の空気を感じることのできる一冊です。

31. 日本の動物園 / 石田 戢 著 (東京大学出版会, 2010.7) 【RA12-J38】

明治時代に西洋から伝わった動物園は、やがて日本に定着し、今に至ります。本書では日本における動物園の歴史や、動物の飼育・展示のあり方、これからの動物園の役割など、動物園とは何かが総合的に論じられています。

**32. 生まれ変わる動物園：その新しい役割と楽しみ方 / 田中正之 著
(化学同人, 2013.4) 【RA12-L5】**

著者が研究活動を行っている京都市動物園での取り組みを具体的な事例を通して紹介しています。動物園での実際の飼育や研究の一端を覗くことができます。

**33. 風俗画報 臨時増刊(新選東京名所圖會第 2 編)(131) (東陽堂,
1896.12) 【雑 23-8】 館内限定公開 ➔**

日本最初の動物園である上野動物園の、開園して間もない頃のにぎわいが描かれています。ゾウやトラ、カンガルーなどの動物の名前を見ることができ、日清戦争の戦利品であったフタコブラクダの姿も見えます。

第2章　－いない－

大昔から人間は豊かな想像力で動物の姿を思い描いてきました。動物が主人公として活躍する物語や、龍やキマイラのような空想の動物の魅力的な姿を紹介します。

トピック③ 頭はライオン、胴はヤギ、 尾っぽはヘビで、口から火!?

身の回りの動物だけでは飽き足らず、人は豊かな想像力を働かせて、様々な動物の姿を創り上げてきました。東洋の龍から西洋のユニコーンまで、世界中の空想上の動物達を集めました。

34. 和漢三才図会 卷五 / 寺島良安 編 (内藤書屋, [1890]) 【031.2-Te194w-n2】 インターネット公開

中国で明の時代に刊行された「三才図会」(王折編)をもとに作成された江戸時代の図説百科事典です。鳥獸を紹介した巻では、実在の動物に交じって鳳凰や龍、人魚などが紹介されています。

35. 図説・日本未確認生物事典 / 笹間良彦 著 (柏美術出版, 1994.1) 【KG745-E75】

日本での目撃談や伝承が残る未確認生物を紹介しています。河童、猫股、鎌鼬など、現在でも有名な生物が掲載されています。中国から伝わったものも多いですが、日本独自の生物もいます。

36. 図説・世界未確認生物事典 / 笹間良彦 著 (柏書房, 1996.10) 【KE185-G14】

フェニックス、ケルベロス、麒麟、スフィンクスなど、世界中の未確認生物が紹介されています。形態的に似ているため同一視されることもあるドラゴンと龍の違いについても言及されており、それぞれの持つ性質がわかります。

37. 山海經校注：増補修訂本 / 袁珂 校注 (巴蜀書社, 1993.4) 【GE265-C219】

山海經（せんがいきょう）は中国古代文献の一つで、地誌に分類されます。しかし実態としては、実在しない生物なども多く掲載しているため、奇書と扱われることが少なくありません。本書はその山海經について、本文、注およびいくつかの項に関連する図を収録しています。

38. 中国の神獣・悪鬼たち：山海經の世界 / 伊藤清司 著；慶應義塾大学古代中国研究会 編 (東方書店, 2013.6) 【KK392-L1】

山海經研究者であった著者が、同書に掲載されている「異形のモノ」たちについて解説しています。人面の鳥や九尾の狐、一角獣など、多種多様な姿をした生物が描かれています。

39. メソポタミアの神々と空想動物 / MIHO MUSEUM 編；アンソニー・グリーン 監修 (山川出版社, 2012.7) 【HK84-J18】

現在のイラクの一部にあたる地域でかつて栄えた古代メソポタミア文明で、人々に信じられてきた神々や精霊、動物についてまとめています。獅子の後脚と尾、鷲の頭と前半身を持つグリフィンなどは世界的にも有名です。

40. 空想動物の世界 = Invitation to the monster world : 聖なる古代の物語 (Miho Museum, 2012.7) 【KE178-J66】

世界各地で偶像化されてきた空想動物を紹介しています。西アジアの出土品に描かれる牡牛人間やギリシア神話のケンタウロス、同神話のハルピュイアと南アジアで描かれるキンナラなど、地域が異なっても似た様相を呈する生物もいます。

**41. 図説ヨーロッパ怪物文化誌事典 / 蔵持不三也 監修 ; 松平俊久 著
(原書房, 2005.3) 【G2-H18】**

本書は、ヨーロッパの神話、博物誌、民間伝承等のなかで描かれる怪物についての事典です。キマイラ、ヒュドラ、バジリスク、ユニコーン等、今なお世界中で有名な空想上の動物たちが紹介されています。

**42. 鼻行類 : 新しく発見された哺乳類の構造と生活 / ハラルト・シュテュンプケ [著] ; 日高敏隆, 羽田節子 訳 (博品社, 1995.9)
【KS421-G1】**

20世紀になって新たに発見された新種の哺乳類「鼻行目」について、その分類学的位置づけや形態的特徴をまとめた動物学論文、という体裁で書かれています。しかし実際はそのような生物は存在せず、架空の生物について子細に描いているフィクションです。

**43. フューチャー・イズ・ワイルド完全図解 : 驚異の進化を遂げた 2 億年後の未来生物たち : The wild world of the future / クレア－・パイ 著 ; 正田努 監修 ; 土屋晶子 訳 (ダイヤモンド社, 2005.1)
【RA19-H60】**

生物学に基づいて、500万年後、1億年後、2億年後の生物を予想し、それらの特徴と生態を図解しています。空飛ぶ魚、陸上を歩くイカ、家畜を育てる蜘蛛など、現在では想像もつかないような生物の図は眺めるだけでも楽しめます。

トピック④ お話の中にいきいきと

ところ変われば、動物の見方も変わります。文学や神話に表現される動物たちは、人々がもつ動物の見方を映す鏡でもあります。動物が登場するお話について、補足資料を織り交ぜつつご案内します。

44. 動物ども / 棕鳩十 著 (一草舎, 2008.10) 【KH384-J109】

小説家棕鳩十の作品集で、主に棕の出身地である長野の自然をバックグラウンドにした物語が並びます。「大造爺さんと雁」をはじめ、自然の中に生きる野生動物と人間の姿がともに描かれる作風を味わうことができます。

45. ドレの寓話集アリとキリギリス / ジャン・デ・ラ・フォンテーヌ 原作 ; 谷口江里也 翻案・解説 ; ギュスターヴ・ドレ 挿画 (宝島社, 2012.6) 【KR163-J53】

古代ギリシアに端を発したイソップ寓話が、17世紀フランスの詩人ジャン・デ・ラ・フォンテーヌによって再編され、そこに19世紀フランスの画家ギュスターヴ・ドレが挿絵を施し、現代日本の詩人谷口江里也によって翻案されるに至りました。イソップ寓話を現代風に整えた一冊です。

46. 動物たちの物語 : ヨーロッパに伝わる神話・伝説を集めて / 浅井治海 著 (フロンティア出版, 2009.11) 【KE178-J38】

西洋の神話や伝承において、動物がどのように登場しているのかが種ごとにまとめられています。一部、著者によってお話の背景が説明されている箇所もありますが、基本的にはお話の要旨を紹介することに徹しており、事典のような体裁がとられています。

47. 動物誌と動物譚 / 杉田英明 編 (平凡社, 1989.11) 【KE222-E3】

東洋の古典文学で動物がどのように描かれているのかについて、種を基軸にして具体例が挙げられています。お話が現代的な言い回しを用

いて抜粋され、予備知識が必要な箇所には注が施されています。また、「枕草子」など日本の作品も扱われています。

48. 漱石研究 (14) (翰林書房, 2001) 【Z13-B128】

雑誌『漱石研究』第14号の特集記事として、大半のページが「吾輩は猫である」についてのエッセイや考察に割かれています。日本近代文学者を中心に、英文学者、小説家、評論家が執筆陣に名を連ね、各々の分野や関心に沿って多様な切り口で作品を論じています。

49. 校本宮沢賢治全集 第11巻 (童話5) (筑摩書房, 1974) 【KH361-2】

児童文学作家宮澤賢治の作品について、未発表のものを含めて編纂された全集です。展示資料はその第11巻にあたり、「注文の多い料理店」他40編余りが収録されています。同じ作品でも刊本ごとに字句が異なる場合があり、その比較検討に誌面の3分の1程度が割かれています。

50. ドリトル先生の世界 / 南條竹則 著 (国書刊行会, 2011.9) 【KS123-J22】

「ドリトル先生」シリーズ作中の文章を引き、必要に応じて当時の時代背景を考慮しながら、丁寧に読み解く文学的手法がとられています。巻末には登場「動物」たちの簡易な事典が載せられています。

51. 吾輩ハ猫デアル 上 / 夏目漱石 著 大倉書店, 明38-40) 【26-344】

インターネット公開 

小説家夏目漱石のデビュー作となる長編小説です。展示資料は明治38(1905)年から明治40(1907)年に初めて刊行されたものです。猫を主人公としたおかしみのある作風が話題を呼びました。また、一風変わった挿絵が本書の所々に施されています。

52. 創造の世界 (通号100) / 小学館 [編] (小学館, 1996.11) 【Z23-186】

館内限定公開 

雑誌『創造の世界』の100号記念特集として、宮澤賢治の思想を再考する企画が組まれました。中でも、靈長類学者河合雅雄が論じた「『注

文の多い料理店』に見る動物観』では、賢治ゆかりの土地と作中に登場する動物の関係性などに言及しています。

53. ドリトル先生「アフリカ行き」 / ロフティング 著；井伏鱒二 訳
（白林少年館出版部，昭和 16）【793-173】

館内公開／
図書館送信資料 

イギリスの児童文学作家ヒュー・ロフティングの著作で、戦地から息子へ書き送った小話が出版されたのち、児童文学として人気を博するようになりました。展示資料は、小説家井伏鱒二によって翻訳され、昭和 16（1941）年に刊行されたものです。

54. 面黒草紙：お伽文学 / 矢矧佑一郎 著（右文社，明 27.2）
【特 13-803】

インターネット公開 

明治 27（1894）年に刊行された書物で、絵草紙の体裁をとっており、滑稽味のある小話と動物をモチーフにした絵が収録されています。別の版元が刊行した『面白草紙』が 40 号あまり続いたのに対し、こちらは一冊もので結了したようです。

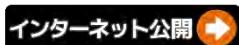
第3章　－もういない－

地球の長い歴史の中には、確かに存在していたのに、今ではその姿を見ることができなくなった動物たちがいます。太古に栄華を誇った恐竜をはじめとして、人の手によって絶滅してしまった動物や、絶滅の危機に瀕している動物を紹介します。

トピック⑤ 恐竜の残したロマン

19世紀にその存在が知られるようになって以来、恐竜は多くの人々の心をとらえてきました。このトピックでは、色鮮やかな恐竜図鑑から最近の研究、絶滅した巨大生物に魅せられた人々の物語まで多面的にご紹介します。

55. 化石学教科書 中 / 横山又次郎 編 (富山房, 明 27-30) 【72-152】



古生物学者である編者横山又次郎（1860-1942）は日本古生物学界の祖と言われ、東京帝国大学で古生物学を教えました。Dinosaurという言葉を「恐竜」と初めて訳した人物でもあります。本書には恐竜の名と当時の分類が書かれています。

56. 世界恐竜発見史：恐竜像の変遷そして最前線 / ダレン・ネイシュ著；春日清秀 訳；伊藤恵夫 日本語版監修 (ネコ・パブリッシング, 2010.8) 【ME587-J34】

恐竜の発掘・研究は19世紀初頭のヨーロッパに始まり、数々の発見を経て進歩してきました。恐竜に関する考え方の変化とそのきっかけとなった重要な発見に焦点を当て、豊富な写真とイラストで解説しています。

**57. 地球絶滅恐竜記 / 今泉忠明 著；清水勝 画 (竹書房, 1988.6)
【ME587-E9】**

図鑑などで私たちが目にする恐竜の想像図は、時を経て研究が進むにつれ形を変えていきます。例えば 1988 年出版の本書では、ティラノサウルスは尻尾を地面に引きずったゴジラのような姿で描かれています (p.180-181)。

58. 恐竜イラスト百科事典 / ドゥーガル・ディクソン 著；小畠郁生 監訳 (朝倉書店, 2008.10) 【ME587-J8】

2008 年に出版された本書では、ティラノサウルスの尻尾は地面から離れ、姿勢は水平になっています (p.204)。ティラノサウルスと言えばこの形を想像する方も多いのではないでしょうか。

59. Newton 33(9) (ニュートンプレス, 2013.9) 【Z14-894】

最近の研究によってティラノサウルスのイメージは再び大きく覆されました。本書では全身に羽毛が生えた想像図 (表紙、p.24) が新しい研究成果とともに紹介されています。

**60. アジアの恐竜 = Dinosaurs in Asia / 董枝明 著；富田幸光 監訳；関谷透 訳 (科学出版社東京 ; 国書刊行会 (発売), 2013.2)
【ME587-L6】**

アジアの恐竜研究の始まりはヨーロッパや北米に比べて遅く、19 世紀末から 20 世紀初頭ごろのことでした。本書は近年飛躍的に発展してきたアジアにおける恐竜研究の歴史を、多くの写真やイラストで解説しています。

61. Milsil : 自然と科学の情報誌 4(4)(通号 22) (国立科学博物館, 2011.7) 【Z74-F705】

日本でも各地から恐竜の化石が見つかっています。近畿では兵庫県丹波市・篠山市で発掘されたタンバリュウなどが知られています。本書では「特集 日本の恐竜」として、日本における恐竜の発掘・研究の足跡を写真や図を用いて紹介しています。

**62. 恐竜学入門：かたち・生態・絶滅 / FASTOVSKY, WEISHAMPEL
[著]；真鍋真 監訳；藤原慎一, 松本涼子 訳（東京化学同人,
2015.1）【ME587-L21】**

本書は恐竜を専門的に学ぶ上で必要な基礎知識を広く取り扱った恐竜学の入門書です。大学生向けに書かれた本ですが、図版や写真も多く、新しい研究が一般の読者にも読みやすくまとめられています。

**63. 恐竜ホネホネ学 / 犬塚則久 著（日本放送出版協会, 2006.6）
【ME587-H28】**

骨という切り口から絶滅してしまった恐竜の真の姿に迫ります。バラバラに発掘される化石から、恐竜の姿勢、筋肉のつき方等、様々な情報が読み取れることができます。

**64. 恐竜を追った人びと：ダーウィンへの道を開いた化石研究者たち /
クリストファー・マガウワン 著；高柳洋吉 訳（古今書院, 2004.12）
【ME561-H8】**

女性化石採集家メアリー・アニングや、イグアノドンを発見したギデオン・マンテル等、恐竜研究の始祖となった人々から、進化論を唱えたダーウィンまで、19世紀イギリスの古生物学界の人間模様が生き生きと描かれたノンフィクション・ドラマです。

トピック⑥ 彼らはそこにいた：絶滅種・絶滅危惧種

地球上ではたくさんの種が栄え、そして滅びてきました。自然災害や宿敵の登場に加え、近年では人類の活動もその要因となっています。絶滅してしまった動物達や、今絶滅の危機に瀕している動物達をご紹介します。

65. 世界の絶滅危惧生物図鑑：IUCN レッドリスト / IUCN 編；岩槻邦男，太田英利 訳（丸善出版, 2014.1）【RA4-L4】

IUCN（国際自然保護連合）が作成しているレッドリストに基づく生物図鑑です。365 の絶滅の危機に瀕する生物を美しい写真とともに掲載し、あわせて、絶滅の危機の度合いや現在とられている保護策などを紹介しています。

66. 絶滅危機生物の世界地図 / Richard Mackay [著]；武田正倫，川田伸一郎 訳（丸善, 2005.11）【RA144-H4】

絶滅の危機に瀕する生物について、その生息環境や地域、生物の種類ごとに、世界地図上で分布を見ることができます。また、生物の原産地だけでなく、保護の観点から、生物の輸出入に携わっている国等についてもまとめられています。

67. 謎の絶滅動物たち / 北村雄一 著（大和書房, 2014.5）【RA454-L3】

ユーラシア、北米、南米、オーストラリア、島嶼部の各地域ごとに、既に絶滅してしまった動物を取り上げた資料です。動物のイラストとともに、生態や絶滅理由なども紹介されています。

68. トキの研究 / 丁長青 編著；蘇雲山，市田則孝 訳；山岸哲 監修（新樹社, 2007.11）【RA567-J1】

トキについての研究書です。トキの生態や遺伝学的研究、解剖学的特徴などをまとめています。また、飼育や繁殖、管理についてなど、トキの保護に関する状況も紹介されています。

69. トキ永遠なる飛翔：野生絶滅から生態・人工増殖までのすべて / 近辺宏帰 総監修 (ニュートンプレス, 2002.11) 【Y94-H1135】

本書は最後の日本産トキ「キン」が死亡する前年に発行され、野生のトキの絶滅から保護、更には人工増殖と言った取り組みを紹介しています。国内で撮影されたトキの写真が数多く掲載され、日本のトキについてよくわかる資料です。

70. 大熊猫迁地保护：理论与实践 / 张志和, 魏辅文编著 (科学出版社, 2006.6) 【RA571-C9】

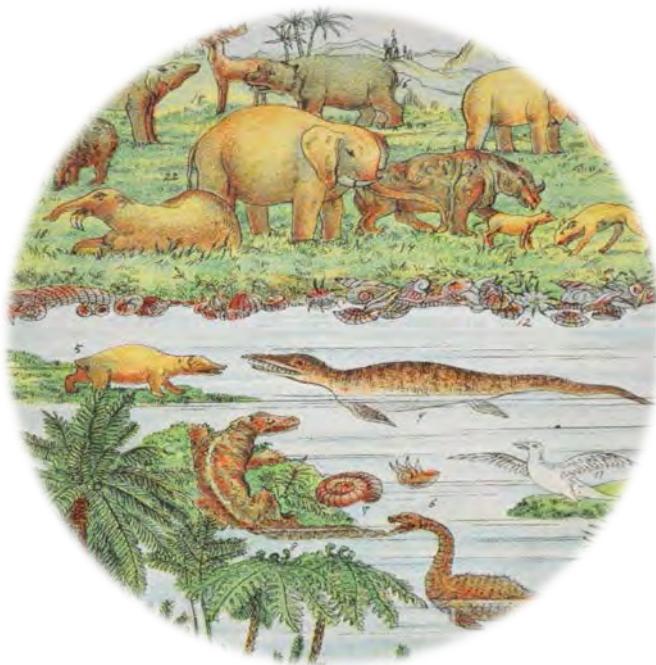
ジャイアントパンダの保護のための理論書です。ジャイアントパンダの生態にはじまり、餌や病気の解説、繁殖させる方法、遺伝学的特性まで幅広くまとめられています。なお、本文は中国語ですが、各章のまとめが英語で記されています。

71. 誰も知らない野生のパンダ / 小林達彦 著 (経済界, 2005.12) 【RA571-H103】

NHK のディレクターである著者が、中国の山奥にいる野生のパンダに関する番組を制作した際の体験談です。自然保護区で生きる野生のパンダの実態を知ることができます

72. ヒトと動物の関係学. 第4巻 / 林良博, 森裕司, 秋篠宮文仁, 池谷和信, 奥野卓司 編 (岩波書店, 2008.11) 【RA411-J14】

野生動物と人との関係は先史以来現在まで、さまざまに形を変えながらも続いてきました。人が絶滅させた動物も数知れずありますが、その一方で、野生動物の保護に取り組む人々もいます。本書では、そのような現状をいくつかの事例を交えて紹介しています。



国立国会図書館 第18回小展示

古今東西いきもの絵巻一いる、いない、もういないー

展示資料リスト

会期：2015年8月20日（木）～9月15日（火）

会場：国立国会図書館関西館 地下1階総合閲覧室

編集・発行 国立国会図書館関西館 展示小委員会

※画像

表紙イラスト（猫）：『面黒草紙：お伽文学』（右文社、1894年）

表紙及び文中イラスト（鳥）・裏表紙イラスト：『普通動物の觀察』（松村三松堂、1908年）

表紙背景：『和漢三才図会. 卷五』（内藤書屋、1890年）